

ニーオルスン基地施設利用に伴う書類の提出について

国立極地研究所北極観測センターの共同利用施設を利用する場合、活動開始前に「ニーオルスン基地施設利用同意書」および「ニーオルスン基地施設利用申請書」を提出していただきます。また、活動終了後には「ニーオルスン基地施設利用報告書」の提出をお願いします。

1. 目的

国立極地研究所北極観測センターは、研究・活動を支援するため、海外の研究機関と提携し、関係機関の施設を共同利用施設として皆様に提供しています。そのため、安全で快適に使用できるように本申請書にて利用情報を提出していただいています。また、共同利用施設で行われた活動を北極研究の成果として記録し、有効利用するために報告をお願いしています。

北極研究の興隆に役立てるために、同意書、申請書及び報告書の提出について、ご理解とご協力をお願いします。

2. 提出期限と提出物

①出発 1 カ月半前までに提出（承認までに 2 週間程度必要です）

チーム単位：ニーオルスン基地施設利用同意書

- ・ チーム単位：ニーオルスン基地施設利用申請書

②活動終了後 2 週間以内に報告

- ・ チーム単位：ニーオルスン基地施設利用報告書（本書式 11 ページ目以降）

3. データサイエンスへの協力

北極観測センターでは、北極で行われている研究・活動についての情報の充実化をめざし、皆様からの報告書の内容を Arctic Research Directory への登録に利用させていただきます。また、各種データの保管と利用の普及を目指して北極域データアーカイブシステム（ADS）へのメタデータ、実データ等の提出・登録をお願いしております。北極域の各国・機関ではデータの共有化を推進しておりますので、データサイエンスへのご理解とご協力をお願いいたします。

4. お願い

- ・ 観測等で現地での許可が必要な場合、活動内容により Governor of Svalbard、Norwegian Animal Research Authority 等からの許可取得とともに NySMAC での審査、Kings Bay AS (KB) への申請などが必要となります。利用承認までに時間がかかることがあるので十分な余裕をもって申請してください。
- ・ 荷物の発送が多量になる場合は受け取り側と必ず調整をしてください。
- ・ ニーオルスン基地では滞在期間中の「基地代表者」を指名しています。通常はリーダーに兼任して貰いますが、複数のチームが滞在する場合は、経験を考慮のうえ当センターから指名させていただきます。

5. 留意事項

- ・ リーダーの他、チーム全員が「ニーオルスン基地利用規定」および「ニーオルスン基地管理運営規約」を確認したうえで、同意書を提出してください。
- ・ ニーオルスン基地常備の設備・備品が故障・破損した場合は、経緯・状況をリーダーがまとめ、北極観測センターへ報告してください。使用中の一切の破損、故障については、原則として当該者の責任において復旧してください。
- ・ 自動車の使用を許可する場合、運転歴等を考慮します。学生は使用できません。自動車事故等が発生した場合、原則として自己責任となりますので、ご留意ください。
- ・ 基地中心部から離れた野外（セーフティエリア外）で活動する場合は、ライフルを携行する必要があり、KB から借用します。2021 年 6 月 1 日にノルウェーの銃器使用に関する法律が改正され、ニーオルスンにおけるライフル借用には、スバルバル知事への銃器借用申請が必要となりました。場合によっては、申請の準備に 1 年以上かかる場合もあります。詳細は、当センター（aerc-jimu@nipr.ac.jp）までお問合せください。

6. 個人情報の管理について

提出いただきました個人情報は、法令や情報・システム研究機構の規程に則り適正に管理いたします。

7. 提 出 先

情報・システム研究機構国立極地研究所 北極観測センター nalyr@po.nipr.ac.jp

国立極地研究所北極観測センター

ニーオルスン基地施設利用同意書

提出日 年 月 日

ニーオルスン基地利用にあたり、以下の項目すべてに同意していただく必要があります。

同意していただける場合、以下に ☒ を入れてください。

- ・ ☐ 基地滞在中は「ニーオルスン基地利用規定」及び「ニーオルスン基地管理運営規約」に則って行動する。
- ・ ☐ 外務省の海外安全ホームページ（<http://www.anzen.mofa.go.jp/>）を確認して、たびレジに登録する。
- ・ 単独での基地滞在者（複数名の利用予定であっても、何等かの事情により単独滞在の期間が発生した場合を含む）には安全対策上の観点から以下の 3 点を義務付ける。

☐ ニーオルスン基地到着後および利用終了後は速やかに北極観測センター ニーオルスン基地担当 nalyr@nipr.ac.jp へ連絡する。フライトに変更が生じた場合も同様に連絡する。

☐ Watch man 直通トランシーバーの使用方法を理解し、単独行動の場合は常時携帯する。

☐ 滞在中、週 1 回のリサーチステーション会議へ出席し、自身が単独滞在であることを報告する。

同意していただける場合、以下に ☒ を入れてください。

- ☐ 上記の内容をチーム全員が確認し、同意しました。

リーダー 氏名 _____
氏名 _____
氏名 _____
氏名 _____

※チーム人数に応じて氏名欄を増やしてください。

国立極地研究所北極観測センター
ニールスン基地施設利用申請書

提出日 年 月 日

センター記入欄 受付日 年 月 日 承認 No.

リーダー 該当欄チェック	氏名： 所属： 部署： 研究分野：□大気 ・ □海洋 ・ □生物 ・ □超高層 ・ □雪氷 ・ □地学 その他（ ）
所属連絡先	住所： TEL： e-mail:
現地緊急時連絡方法	基地固定電話、リーダーの所属先メールアドレスに連絡します。指定がある場合はご記入ください。
研究・活動名	タイトル： □ 野外活動有 □ 野外活動無
関連事業名	□ ArCS Ⅲ：研究課題等 アイテムを選択してください。 □ 極地研事業研究名： _____ □ その他（以上に該当しない場合）：アイテムを選択してください。
利用施設名	ニーオルスン基地
利用期間 チェックイン～チェックアウト	利用期間 年 月 日～ 年 月 日 （ 日間） 前後に他の用務がある場合の全体期間 年 月 日～ 年 月 日
チーム人数	名
国立極地研究所 共同研究教員名	氏名：
観測活動に必要な許可 該当欄チェック	□ 要 ・ □ 否 要の場合、4-5) に状況をご記入ください。
自動車使用 該当欄チェック	□ 有 ・ □ 無 有の方は以下を記入してください。 使用目的： ニーオルスン □ 基地所有車両*（ハイエース） □ KB 貸し出し車両 □ その他：同乗等 * AT 限定不可
荷物輸送 該当欄チェック	□ 有 ・ □ 無 有の場合、下記をチェックのうえ、3-3) に詳細を記入してください。 □ 輸送品に関する安全輸出保障管理手続きを発送までに行います。

※記載していただいた個人情報、施設利用申請に関する目的以外には使用しません。

1. 活動概要と目的（RiS ID ごとに記載してください。足りない場合は欄をコピーして記載欄を増やしてください。）

RiS ID	
プロジェクト名 (英)	

プロジェクト名（和）	
活動概要・目的 今回の基地利用における活動 概要・目的を具体的に日本語 で記入	

2. 利用者情報

利用者と期間（人数が多い時は行をコピーしてご利用ください）

- ・自動車運転、銃器（ライフル等）所持（学生不可）、スノーモービル使用の予定者は区分欄にチェックを入れてください。
- ・ボートやバギー、現地機関所有車同乗などはその他の欄をチェックし、（ ）に使用予定のものを記載してください。
- ・利用するものにより免許を求められる場合がありますので、各自で確認してください。（ロングイヤービンではスノーモービルの運転に自動二輪運転の国際免許証が必要など）
- ・利用期間が複数に分かれる場合は日程のすべてを記載してください。
- ・ロングイヤービン～ニーオルスン間のフライトチャーター便とニーオルスンでの宿泊先は、センターからの利用許可後に Research in Svalbard database (RiS)の WEB サイト（<https://www.researchinsvalbard.no/>）で登録してください。
- ・現地で登録内容と変更が生じた場合は速やかに当センター（aerc-jimu@nipr.ac.jp）までご連絡ください。

区分	氏名（和） パスポート表記（英） 生年月日	所属・職名 TEL & e-mail ※学生の場合、職名の 代わりに学年と指導教 員名を記載	ニーオルスン 基地利用期間 ※フライト日がチェ ックイン、チェックア ウトの日です。	自動車運転者記入欄 ※自動車を使用する場合は、記載してください ※自動車使用時は運転予定ルート地図を提出してください	緊急時の所属機関 連絡先※2 （担当者名、所属 部署、TEL & e- mail）
◎ リーダー ☐ 自動車運転 ☐ 銃器 ☐ スノーモービル ☐ その他 （ ）			月 日 ～ 月 日	ニーオルスン基地利用者 ・ 普通自動車運転免許： ☐ 有(MT) ☐ 有(AT 限定) ☐ 無 ・ 免許資格取得後 3 年を経過している： ☐ 該当 ☐ 非該当 ・ 過去 1 年以上継続した自動車運転の経験： ☐ 有 ☐ 無 ・ 過去 1 年間に無事故（軽微な事故は除く）で、また免許停止等の行政処分を受けていない： ☐ 該当 ☐ 非該当	
☐ 自動車運転 ☐ 銃器 ☐ スノーモービル ☐ その他 （ ）			月 日 ～ 月 日	ニーオルスン基地利用者 ・ 普通自動車運転免許： ☐ 有(MT) ☐ 有(AT 限定) ☐ 無 ・ 免許資格取得後 3 年を経過している： ☐ 該当 ☐ 非該当 ・ 過去 1 年以上継続した自動車運転の経験： ☐ 有 ☐ 無 過去 1 年間に無事故（軽微な事故は除く）で、また免許停止等の行政処分を受けていない： ☐ 該当 ☐ 非該当	

※1 記載していただいた個人情報、施設利用申請に関する目的以外には使用しません。

※2 所属機関内の緊急連絡先として指定されている方や、所属機関において迅速に緊急連絡が可能な方の連絡先をご記入ください。

3. 荷物輸送のある方

1) 事前注意

下記の場合は、事前に KB 予約担当へ連絡し必ず調整してください。その際は当センターを cc に入れて連絡をお願いします。なお、現地に荷物を置いてくる場合は必ず関係機関の許可を取ってください。

- ・ **郵便（3 梱包以上）**：3 梱包以上になる場合、荷物の数を KB 予約担当へ連絡してください。
- ・ **航空貨物**：梱包数、重量（個別、総重量ともに）、AWB（航空貨物運送状：Air Waybill）番号を KB 予約担当へ連絡してください。特に 100Kg 以上の輸送は希望到着日の 1 カ月前までに事前連絡が必要です。
量によってはトロムソから船便にするようにという指示があります。トロムソからニーオルスンへ船便で輸送する場合、トロムソ空港に遅くとも 3 日前までに到着するように手配し、到着前に輸送会社の Bring へ Invoice と AWB 番号を連絡すると同時に、どの船に載せるかを KB 予約担当、船便担当に連絡してください。
- ・ **船便**：到着予定について KB 予約担当と船便担当へ連絡し、荷物を基地まで輸送するかどうかとも連絡してください。

2) 連絡先

Kings Bay AS (KB)：予約担当 booking@kingsbay.no、船便担当 harbour@kingsbay.no と research@kingsbay.no

Bring：KB に担当者連絡先を確認してください。

北極観測センター：aerc-jimu@nipr.ac.jp

3) 輸送品（申請時にわかっている範囲で以下の表に記入し、確定したら発送控え（AWB 番号、Invoice、パッキングリスト等）を当センターへお送りください。該当欄をチェックしてください。）

A. 往路（欄が足りない時は行をコピーしてご利用ください）

輸送手段番号：①国際郵便、②航空貨物、③船便、④トロムソ（またはオスロ）まで航空便のあとニーオルスンまで船便

発送予定日	梱包数	重量	主な品名	輸送手段番号

B. 現地に残置する荷物の有無 ☐ 有 ・ ☐ 無

有の場合、具体的にどこに何を残置するのか記載してください。（欄が足りない時は行をコピーしてご利用ください）

名称	設置・保管場所	個数とサイズ	保管期間	責任者名

C. 復路（欄が足りない時は行をコピーしてご利用ください）

輸送手段：国際郵便、航空貨物、船便、ニーオルスンからトロムソ（またはオスロ）まで船便のあと航空便

発送予定日	梱包数	重量	主な品名	輸送手段

4. 野外活動または観測機材設置予定の方はこちらも記入（RiS ID で分けられる場合は、RiS ID ごとに記載してください。）

- ・ 電波発信・受信装置の使用や設置はノルウェー政府や NySMAC、KB の許可が必要です。
- ・ 基地内に機材を設置の場合は事前に当センターにご相談ください。
- ・ ニーオルスンの野外観測はスバルバル政府の許可が必要な場合があるので、詳しくは以下のウェブページをご覧ください。

<https://www.sysselmannen.no/en/researchers/guidelines-for-researchers-in-svalbard/>

RiS ID			
1)活動情報			
位置			
活動地域地図添付	（観測地域や機材設置場所を記載。スノーモービルで移動がある場合は使用ルートを記載してください。）		
2)機材設置情報 （該当する場合は以下に詳細を記入してください）			
設置機材名：	設置期間：		
設置場所：	消費電力：		
3)安全対策 （危険や有害な作業が伴う場合の安全対策を記載してください）			
4) 活動の場所や環境に関するリスク対策 （該当欄チェック後、具体的に記載してください。）			
☐ 外務省・海外安全 HP の「危険情報」を確認しました。（ https://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/ ）			
5) 法令の求める要件への対応 （安全輸出保障管理、RiS 登録情報以外に活動に必要な法令等及び日本へ試料等を持ち込む際に必要とされる法令への対応について記載してください。）			

5. ニーオルスン観測用チェック欄 NySMAC PID Forum (該当欄チェック)

以下の内容に触れる部分がないか確認してください。1 項目でも「Yes」の場合は事前に NySMAC の承認が必要で、機器設置等は KB への申請を必要とします。各自で許可申請をしていただきますが、承認までに時間がかかるので事前計画を綿密に立ててください。「Yes」がある場合は、各項目に詳細を英語で記入すると同時に研究概要を最後に英語で記入してください。

☐ Yes ☐ No	1. 一度にニーオルスンに滞在する人数が 15 人を超えますか？ Larger number of people. Large is not a fixed number, but is somewhat determined by the activities of the group. I.e. a group of 15 scientists in the field will affect the environment much more in the summer compared to the winter. Also the availability of accommodation is more limited during spring and summer peak period than fall and winter. As a rule of thumb all projects with more than 15 participants should go to the NySMAC PID.
☐ Yes ☐ No	2. フィールドにおいて何らかの試料（土壌、植物など）を採取しますか？ Removal of natural material. This may permanently affect the environment, and it may affect the project of other scientists. The Governor of Svalbard has to approve such activities (environmental effects), but NySMAC needs to discuss if this removal may be in conflict with other projects or may be harmful for the animals. (Yes の場合、具体的な数量・採取面積等の内容を英語で記述してください)
☐ Yes ☐ No	3. フィールドにおいて化学物質を使用しますか？ Chemicals in the nature. The Governor of Svalbard has to approve the use of chemicals in the nature (environmental effects), but NySMAC needs to discuss if this use may be in conflict with other projects or may be harmful for the animals. (Yes の場合、具体的な内容を英語で記述してください)
☐ Yes ☐ No	4. 動物を扱う活動を行いますか？ Handling of animals/birds. Norwegian Animal Research Authority has to approve all animal experiment, but NySMAC needs to discuss if this handling may be in conflict with other projects. (Yes の場合、具体的な内容を英語で記述してください)
☐ Yes ☐ No	5. ニーオルスンで学生向けの授業／講義を行いますか？ All Master and PhD courses irrespective the number of students. The courses should take place outside the peak season (April-August) if possible. All student courses will need a good project description with a detailed plan, and must contain information on what level (master/PhD) the course is at. Master/PhD student coming to Ny-Ålesund with their Supervisors as part of their research project are not what we are discussing here. (Yes の場合、具体的な内容を英語で記述してください)
☐ Yes ☐ No	6. 電波を発する機器を使用しますか？ The sixth criteria concerns Ny-Ålesund as a radio silent area. Active instruments emitting signals at frequencies that may affect other instruments. The list of frequencies in use in Ny-Ålesund will be available at the Kings Bay website (when updated). (Yes の場合、使用する周波数を英語で記載してください)

☐ Yes ☐ No	7. 今後、野外あるいはニールスンの Science area 内に観測機器を設置しますか？ Permanent or temporal installations both outside Ny-Ålesund and within the science area in Ny-Ålesund. The Governor of Svalbard and Kings Bay (within their land use plan) have to approve such installations, but NySMAC needs to discuss if this installation may be in conflict with other projects or may be harmful for the animals. (Yes の場合、具体的な内容を英語で記述してください)
☐ Yes ☐ No	8. Ny-Ålesund Science Plan (http://nysmac.npolar.no/research/flagships/)に関連しない研究（例：社会科学等）ですか？ Science that does not contribute to the Ny-Ålesund Science Plan (the four Ny-Ålesund Research Flagships or the Ny-Ålesund Monitoring Program). One example of such activities is all social science activities. (Yes の場合、具体的な内容を英語で記述してください)
☐ Yes ☐ No	9. UAV を使用しますか？ Operation of UAVs. Although Kings Bay AS is taking care of the formal procedures, there is currently no channel to inform other stations in advance of a science project involving UAVs. (Yes の場合、使用する周波数、場所、時期等を英語で記載してください)
研究概要（英語で記載してください）	

6. 緊急時連絡体制

＜研究・活動期間中のチーム内緊急時連絡体制＞（以下に記載してください）

＜極地研への連絡について＞（チーム内で以下の情報を共有してください。基地利用申請が承認されたら、緊急連絡先の電話番号情報をお渡します。）

観測チームリーダー（または同行者）が緊急時にすること

1. Kings Bay Watchmanヘトランシーバーや電話等による連絡
2. 施設にいる同行者・滞在者ヘトランシーバー等による連絡
3. 日本時間の平日 9：00～17：30は北極観測センターへ電話（Eメール）連絡
業務時間外は所定の緊急連絡先（承認後に緊急連絡体制図をお渡します）に連絡
第一報はできるだけ電話連絡をしてください。詳細についてはメールでの連絡で構いません
4. 所属機関等に連絡

連絡基準

- ・出張者の死亡・行方不明
- ・野外にいる出張者との交信・連絡の途絶
- ・入院加療を必要とする怪我・病気の発生
- ・車両事故
- ・規模や継続時間を問わないすべての火災・爆発の発生
- ・上記以外の現地で判断できない災害・事故（迷ったらご連絡ください）

連絡項目

- ・連絡者氏名
- ・人的被害の有無
- ・人的被害があった場合、氏名と容態
- ・発生場所
- ・事故の状況
- ・医療機関搬送の必要の有無
- ・その他（今後の連絡方法の確認）

国立極地研究所北極観測センター
ニーオルスン基地施設利用報告書

当センター記入 承認 No.

受領日 年 月 日

提出日 年 月 日

記入者：

1. リーダー 氏名： 所属：

2. 研究分野 ☐ 大気 ・ ☐ 海洋 ・ ☐ 生物 ・ ☐ 超高層 ・ ☐ 雪氷 ・ ☐ 地学
その他 ()

3. 研究・活動名
RiS ID :

4. 利用者と利用期間 年 月 日～ 年 月 日

- ・ 申請時と違う部分は赤字でご記入ください。(申請書をコピーして記入できます)
- ・ 最終宿泊先と UNIS 利用が有の場合はその期間を明記し、自動車運転・ライフル・スノーモービルもチェックしてください。
- ・ ボートやバギー、現地機関所有車同乗などはその他の欄をチェックして、() に使用したものを記載してください。

区分	氏名(和) パスポート表記(英) 生年月日	所 属・職名 TEL & e-mail ※学生の場合、職名の代わりに学年と指導 教員名を記載	ニーオルスン 基地利用期間 ※フライト日がチェックイン、チェック アウトの日です。
◎ リーダー ☐ 自動車運転 ☐ 銃器 ☐ スノーモービル ☐ その他 ()			月 日 ～ 月 日
☐ 自動車運転 ☐ 銃器 ☐ スノーモービル ☐ その他 ()			月 日 ～ 月 日
☐ 自動車運転 ☐ 銃器 ☐ スノーモービル ☐ その他 ()			月 日 ～ 月 日
☐ 自動車運転 ☐ 銃器 ☐ スノーモービル ☐ その他 ()			月 日 ～ 月 日

※上記記載していただいた個人情報、施設利用申請に関する目的以外には使用しません。

5. 活動内容 (RiS ID ごとに記載してください。足りない場合は欄をコピーして記載欄を増やしてください。)

RiS ID	
プロジェクト名	
1) 観測・研究実施項目、手法	
2) 取得データや簡単なグラフ・地図・写真等を含めて結果の記載	
3) データマネジメントプラン (取得データの保管方法や使い方を教えてください。)	
4) サンプルの利用方法 (何を、いつ、どこで、どのように使うか教えてください。RiS 登録情報を流用した PDF 添付でも可。)	

6. 個別使用報告

1) 滞在中の軽油・ガソリン給油量			
☐ 軽油	☐ ガソリン	給油量： L	給油日： 月 日
☐ 軽油	☐ ガソリン	給油量： L	給油日： 月 日
2) 緊急時にイリジウムおよび基地内の電話で国際電話をした使用明細			
使用日時：		使用時間： 分	
相手先：		相手先電話番号：	
3) KB 等からレンタルしたもの			

7. 荷物輸送実績報告（欄が足りない時は行をコピーしてご利用ください。往路・復路に関係なく荷物輸送をした場合は、最終実績をご報告ください。）

A. 往路 輸送手段：国際郵便、航空貨物、船便、トロムソまで航空便のあとニーオルスンまで船便

発送日	梱包数	重量	荷物番号 (AWB 番号、Invoice 番号等)	主な品名	輸送手段

B. 現地に残置した荷物の有無 ☐ 有 ・ ☐ 無

有の場合、具体的にどこに何を置いてきたのか記載してください。（欄が足りない時は行をコピーしてご利用ください）

名称	設置・保管場所	個数とサイズ	保管期間	責任者名

C. 復路 輸送手段番号：①国際郵便、②航空貨物、③船便、④ニーオルスンからトロムソまで船便のあと航空便

発送依頼日	梱包数	重量	荷物番号 (AWB 番号、Invoice 番号等)	主な品名	輸送手段番号

8. 今回の活動で「法令の求める要件への対応」として行った手続きについて教えてください。

（RIS 登録の permission、安全輸出保障管理以外のものをご記入ください。）

9. 北極域データアーカイブシステム（ADS：<https://ads.nipr.ac.jp>）データ提出予定

ADS は、大気、海洋、雪氷、陸域、生態に関する観測データと、モデルやシミュレーションの複数分野にまたがるデータの集積・公開を行い、利活用を推進し、日本の北極域のデータ公開の中心的な役割を担っていきます。皆様の積極的な登録をお願いします。

提出予定	年 月 頃
Dataset title（英語）	
備考	

データサイエンスへのご協力について

北極観測センターでは、北極で行われている研究・活動についての情報の充実化をめざし、本書式にて皆様からご提出いただいた活動内容を Arctic Research Directory への登録に利用させていただきます。また、各種データの保管と利用の普及を目指して北極域データアーカイブシステム（ADS）へのメタデータ、実データ等の提出・登録をお願いしております。北極域の各国・機関ではデータの共有化を推進しておりますので、データサイエンスへのご理解とご協力をお願いいたします。

☐ **Arctic Research Directory(ar Directory)登録について合意します**

10. ヒヤリハット事例報告

活動中のインシデントに繋がるようなヒヤリハット（ミスやインシデントにはいたらなかったが、一歩間違えると危険であった事例）について、情報提供ください。
※事例報告をしたことにより、当該研究者が研究活動等における不利益を受けることはありません。
※本報告は、個人が特定できない情報にした上で NySMAC へ報告し、将来のインシデントを未然に防ぐ目的で公表される事例集の情報として利用される可能性があります。ご協力よろしくお願いいたします。

内容 (いつ、どこで、どのような)	タイトル : _____

11. その他（運営に関する要望、基地建物内あるいは UNIS オフィスやその周辺に関して周知すべき事項がありましたら、ご記入ください。
例：設備品の破損・損失、消耗品の使用など。）

--

以上